令和4年度　自己点検・自己評価

学則　第4条　本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、
本校における教育活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

目標　教育活動やその他の学校運営について、達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価・
公表し、学校としての組織的・継続的な改善を図る。

評価期間：　令和4年4月～令和5年3月の1年間

実施者：　教職員15名

評価項目：　120項目

評価尺度：　当てはまる
やや当てはまる
当てはまらない

表1　年度ごとの評価平均

カテゴリー		令和4年度	令和3年度
Ⅰ	教育理念・教育目的	2.9	2.8
Ⅱ	教育目標	2.8	2.8
Ⅲ	教育課程経営	2.7	2.7
Ⅳ	授業・学習・評価	2.7	2.6
Ⅴ	経営・管理過程	2.7	2.6
Ⅵ	入学	2.8	2.7
Ⅶ	卒業・就職・進学	2.3	2.3
Ⅷ	地域社会・国際交流	2.4	2.2
Ⅸ	研究	2.2	2.2

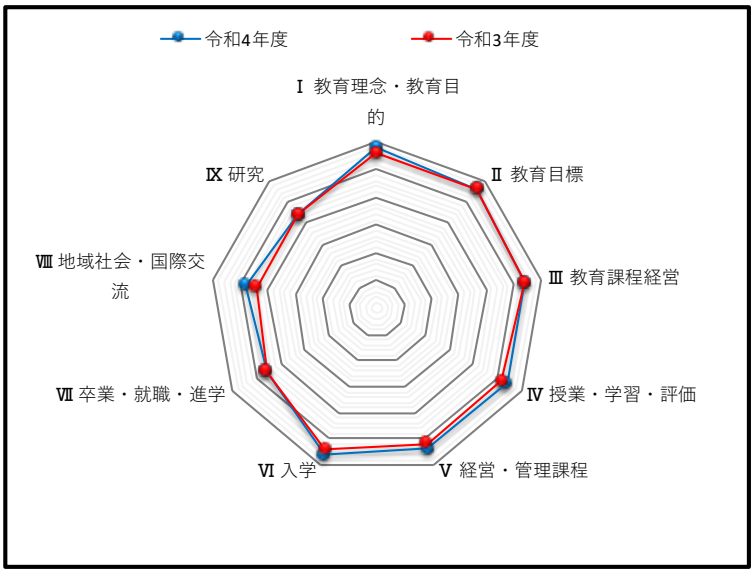


図1：令和3年度・4年度　学校運営評価カテゴリー別平均点の比較

結果

1．表1、図1より、カテゴリーでは

平均点がＲ3年度より上がったカテゴリーは5カテゴリー

平均点がＲ3年度より下がったカテゴリーはなかった

2．項目では　（R3年度と比較し）

平均点が上昇した項目	120項目中59項目
同じ項目	120項目中39項目
低下した項目	120項目中16項目

結果及び分析

	大項目	結　果　及　び　分　析
Ⅰ	教育理念・教育目的	・カテゴリー平均値はR3年度から0.1ポイント上昇した。 ・教育理念・教育目的が「卒業時に持つべき資質」と理解されている。また、「看護・看護基礎教育・学生観」についても学生便覧に記載されており、理解されている。
Ⅱ	教育目標	・カテゴリー平均値に変化なし。教育目標、シラバスや授業計画から理解されていると判断する。
		・カテゴリーの平均値はR3年度と比較し、変化はなかった。 ・0.1ポイント以上上昇している項目は。「教育課程の評価」、「卒業時到達度評価」、「カリキュラム評価」、「学校運営評価」など、評価を実施していることが理解されている。 単位の履修方法や他の高等教育機関との単位互換等について、態勢は整えられ、明示されていることから理解が得れれている。また、実習施設との関係性や協力体制が整えられている。

Ⅲ	教育課程・経営	・0.1ポイント以上低いのは、「効果的な授業運営を図るため適切な時間割を調整」についてはコロナ感染の影響が大きかった。時間割作成時の状況と実際の状況の変化があるため、その都度、柔軟に対応したい。「専門性が発揮できる担当科目及び担当時間」について、看護専門学校では、教員による他分野の教授も求められているが、その中でも専門性が発揮できるように業務分担を行ってきた。また、外部講師の教授が効果的であれば、依頼してきた。”専門性”という点では今後確認しながら進めていく。 「授業準備時間をとれる体制を整えている」については。調査開始当初から低い値である。個々の業務改善や時間調整、長期休業中の時間の調整を行う。また、臨地実習中でも必要であれば学内勤務できる環境づくりも必要である。 ・「倫理的配慮の指導や安全教育」については一年次からの講義、実習オリエンテーションにて適時指導している。今後は実習オリエンテーションを三年間の中で時期・方法・指導内容を厳選し、学生の理解を促す。
Ⅳ	授業・学習・評価	・カテゴリーの平均値はR3年度と比較し、0.1ポイント上昇した。 ・ほとんどが0.1～0.5ポイント上昇している。より具体的で各教員が意識して取り組んでいると判断する。 ・0.1ポイント低下しているのは、他の科目や他の授業内容との整合性、妥当性、関連性である。科目目標・シラバス・授業計画書との整合性を教育課程全体から確認する習慣が必要である。
Ⅴ	経営・管理課程	・カテゴリーの平均値はR3年度と比較し、0.1ポイント上昇している。 ・0.1ポイント以上上昇は、特に学生生活への支援に関する評価が高かった。グループ指導体制をとり、個別性にあった支援を心掛けた。今後も継続する。 ・0.1ポイント低かった項目は「意思決定システム」、「財政基盤の確保」、「学校の活動内容をアピールする広報活動」、「自己点検・自己評価の意味と目的の理解」の4項目だった。4項目2.5～2.8と決して低い値ではないが、引き続き、説明を行っていく。 ホームページに掲載するタイミングが遅かったことから、タイムリーに掲載できるように心がけ
Ⅵ	入学	・カテゴリーの平均値はR3年度と比較し、0.1ポイント上昇している。 ・入学者選抜については優秀な入学者の確保と定員確保に向けて、入試制度を変更した。入試制度の変更に伴い、選抜の公平性を担保するために、入学者選抜要項や内規の変更を行い、進めてきたことが理解されている。
Ⅶ	卒業・就職・進学	・カテゴリーの平均値はR3年度と同じ。しかし、H28の調査開始から1.0台と低い項目がある。 ・0.1ポイント以上上昇しているのは「卒業時の到達状況」である。看護技術ゼミナールにおける、「看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」や技術経験録、教育目標の自己評価において結果を明らかにしていることから高い評価となった。 ・0.3ポイント低下しているのは、「卒業生に関する活動状況や就職先での評価」、「就職先と学校の意見交換」に関してである。R4年度の重点目標にも掲げたが、進んでいない状況である。今後の課題となる。
Ⅷ	地域社会・国際交流	・カテゴリーの平均値はR3年度と比較し、0.2ポイント上昇している。 ・0.1ポイント以上上昇しているのは「地域社会との連携」である。新カリにおいて「地域の実習」を実施し、地域との連携ができた。 海外からの帰国学生受け入れはいないが、体制はあるということが理解されている。また、海外において看護職を希望する学生への支援体制があるという理解がされていると判断する。 ・0.1ポイント以上低いのは「学校の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段」である。茂庭台地区との懇談会に出席し、市民センターや児童館の活動を本校の授業や看学祭に活用できるよう、担当には還元していたが、全職員の理解までは至っていなかった。
Ⅸ	研究	・カテゴリーの平均値はR3年度と同じ。 ・0.1ポイント低下しているのは「研究活動の保障や体制」である。次年度は研究活動を勧め、実際に研究発表まで行いたい。

評価

1．カテゴリーの平均値がＲ3年度より5カテゴリー上がったこと、下がったカテゴリーがなかったことことから、学校運営に関して理解されていると判断する。

2．今後の課題

Ⅲ 教育課程・経営	教育課程において、時間割・教員の専門性の活用・授業準備の時間確保に向けてさらに、教職員と連携を行う。また、看護倫理、職業倫理といった倫理の教育や安全教育を計画的に進めていく。

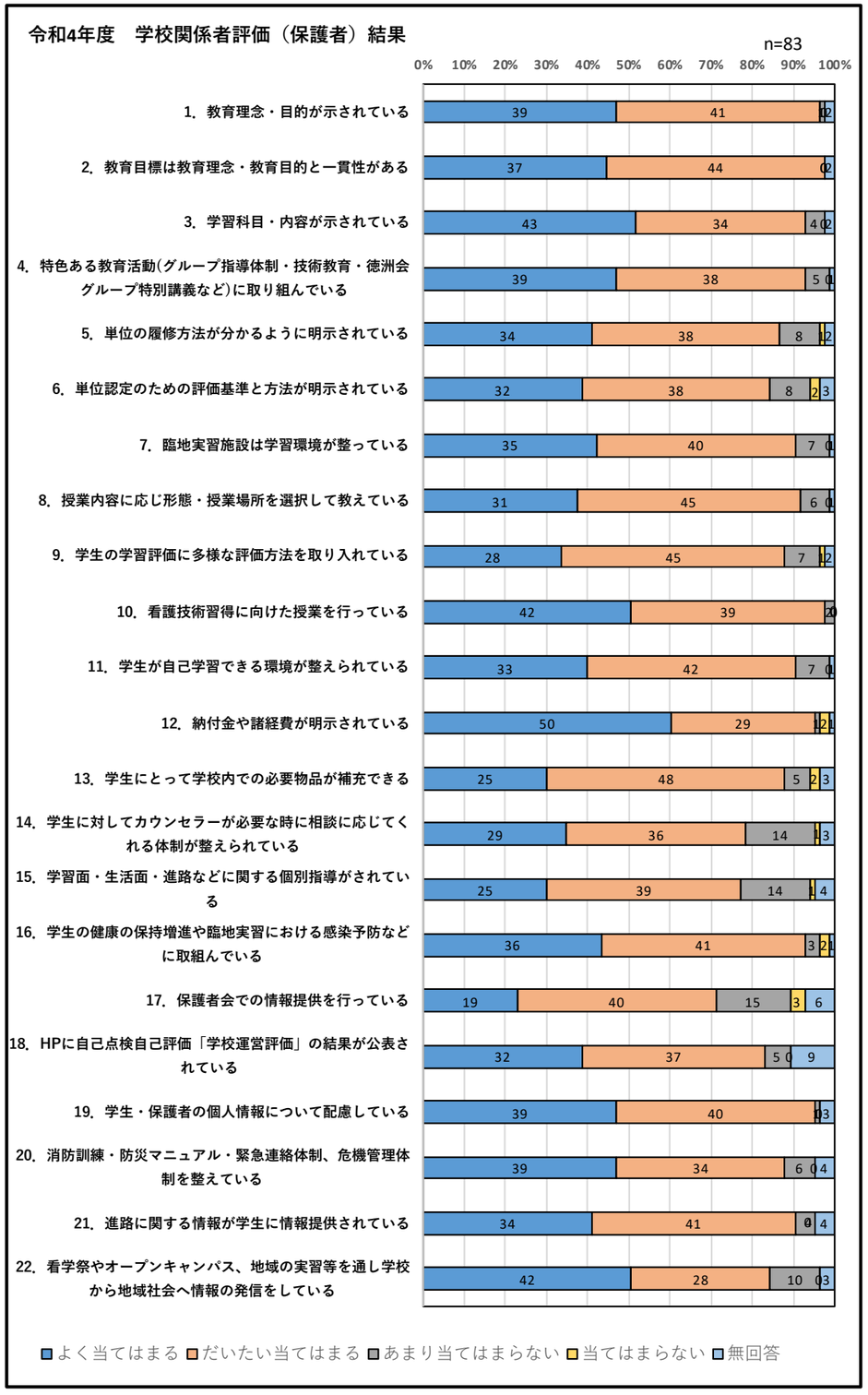
Ⅶ 卒業・就職・進学	卒業生に関する活動状況の把握や卒業生・就職先と学校との意見交換に関して進める。
Ⅷ 地域社会・国際交流	Ⅴの「学校の存在や活動内容をアピールする広報活動」とも関連するが、学校情報の地域発信と地域との連携について、強化する。

令和4年度 学校関係者評価の結果

実施期間 ：令和4年4月～令和5年3月までについて、令和4年１2月～令和5年1月に実施した

評価基準： 4段階　　よく当てはまる、大体当てはまる、あまり当てはまらない、当てはまらない

回収率：　55.0%　　（83件／152件）



	項目	まとめ
1	教育理念・教育目的の明示	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。コロナ禍において十分な説明会を開くことができませんでしたが、新入生保護者オリエンテーション資料や保護者会資料にて、保護者のみな様にはご理解いただけました。
2	教育目標と教育理念・教育目的の一貫性	
3	学習科目・学習内容の明示	
4	特色ある教育活動への取り組み	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。徳洲会グループの特徴である離島医療・看護やTMATの災害活動などの特別講義や災害看護の講義において十分ご理解いただけたと考えます。
5	単位の履修方法の明示	よく当てはまる・だいたい当てはまるが80%台でした。新入生保護者オリエンテーションを令和3年度は資料のみ、令和4年度はオンラインで実施しました。しかし、資料だけでの理解は難しかったようです。資料を用いて詳しい説明は必要だったと思います。令和5年度は対面での説明ができました。
6	単位認定のための評価基準と方法の明示	
7	臨地実習施設の充実	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。仙台市近郊で実習が行えることでご理解を得られていると考えます。
8	授業内容に応じ形態・授業場所の選択	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。シラバスをご覧いただくことでご理解いただいていると考えます。
9	学習評価に多様な評価方法の取り入れ	よく当てはまる・だいたい当てはまるが80%台でした。シラバスをご覧いただくと評価方法が掲載されておりますのでご確認をお願いいたします。
10	看護技術習得に向けた授業	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。看護技術指導に力を入れているのが教育の特徴でもあり、今後も重点的に進めてまいります。
11	学生が自己学習できる環境整備	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。コロナ禍において講義室の変更等あり、個人学習スペースが限られておりますが、ある程度のご理解をいただいていると考えます。
12	納付金や諸経費の内容が明示	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。学校案内や学生募集要項等においてご理解いただいていると考えます。
13	学生は学校内での必要物品の補充が可能	よく当てはまる・だいたい当てはまるが80%台でした。本校は食堂はありません。コロナ禍において弁当販売も来なくなりました。コンビニのような売店とまではいきませんが、学校内で必要物品が調達できる簡易な売店を設けております。この項目については引き続き検討してまいります。
14	カウンセラーが必要な時に相談に応じる体制	よく当てはまる・だいたい当てはまるが70%台でした。カウンセラーは月1回学校に来ています。学生にも利用を進めておりますが、設問にあるように"必要な時に"という時間に関してはタイムラグがあると思われます。
15	学習面・生活面・進路などに関する個別指導	よく当てはまる・だいたい当てはまるが70%台でした。本校の特徴の一つに個別指導がありますが、学校では学生が問題を解決できるように支援を行うことを基本としております。今後も一人ひとりに
16	学生の健康の保持増進や臨地実習における感染予防の取組み	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。コロナ禍での学生生活や臨地実習対応ではご理解いただけたと考えます。今後も健康の保持増進、感染対策に取組んでまいります。
17	保護者会での情報提供	よく当てはまる・だいたい当てはまるが70%と全項目の中で最も低い値でした。令和2年度・3年度・4年度の新入生保護者オリエンテーション対面ではなかったこと、保護者会の開催が令和2年度開催せず、3年度オンライン、4年度に通常開催しました。このことから低い値になったと考えます。今後は対面でご説明できると思います。
18	「学校運営評価」「学校関係者評価」の結果公表	よく当てはまる・だいたい当てはまるが80%台でした。改善点や検討課題をまとめ、学校運営に活かしてまいります。
19	学生・保護者の個人情報への配慮	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。ご理解いただいていると考えます。
20	消防訓練、防災マニュアル、緊急連絡網の作成と危機管理体制の整備	よく当てはまる・だいたい当てはまるが80%台でした。近隣の駐在所や警察署からの情報提供をふまえ、学生に安全の確保を注意しております。また、学生からの不審者の情報を警察署に通報し、警察による巡回も依頼しております。今後も学校・学生の安全を第一に考えてまいります。
21	学生への進路に関する情報提供	よく当てはまる・だいたい当てはまるが90%以上でした。進路に関する情報は個別指導でも行っており、ご理解いただいていると考えます。
22	学校から地域社会へ情報の発信	よく当てはまる・だいたい当てはまるが80%台でした。今後はさらに学校ホームページを活用し、みな様に学校を知っていただく機会とし、内容を工夫してまいります。